

# 原発事故でパトナーの安全守れ 現実に即した計画策定したい

パトナーの安心安全を考えたとき、今の一番の問題は原発事故です。「現在の原子力防災計画の見直し

は、福島第一原発事故と同等の事故を想定しているが、島根原発での最悪の結果を想定すべきだ」と指摘

しつつ、避難計画やヨウ素剤の配布などを指摘しました。被害想定について知事と意見は一致しませんでした。が、「今、議員がおっしゃるような現実に即した避難の計画なり、防災対策なりが組めるような視点で検

討を進めて参りたい」とお答えいただきました。「飲料水はミネラルウォーターの産地であり、確保できそうだが、生活用水が心配。個人の井戸のウェブマップを作成しては」と提案すると「登録制など検討

したい」と回答されました。最後に「安全に巨大な費用と人手がいる原発はいらない。脱原発の宣言を」と迫ったのですが、「簡単に

つというスタンスで臨んでいきたい」と、同意いただけませんでした。質問は午前10時から、休憩を挟んで午後5時前まで続けました。質問の全体は私や県議会のホームページでご覧下さい。

# まんが王国で若者元気に 最終日、本会議で賛成討論

共産党県議が、まんが王国とつとり建国イヤー関連事業費などを理由に平成24年度一般会計予算案に反対の討論をされましたので、11月議会に続き、国際まんが博覧会への賛成の討論をいたしました。



最終日、予算案に賛成討論で登壇しました

ドを披露しました。イベントはネーミングが重要で

が、おもちやも、マンガも、その意味では満点です。高知が龍馬博を開催し、松江で7月11日から神話博が開催されるなど観光での都市間競争が激化する中、鳥取が食材や自然に恵まれていても、イベントなどで全国に発信していかないと観光客は来てくれませんし、生き残れません。

フイギュアの計画があるが、気持ち悪い」と厳しい批判が飛び出しましたが、誤解です。リカちゃん人形に中学や高校の制服を着せて卒業記念品として売り出そうという真面目なビジネスモデルです。エヴァンゲリオン・レーシングチームを鳥取に招いたり、米子をコスプレヤーで埋めるイベントを企画したりする若者が出てきました。こんな頑張りを否定しないで欲しいと訴えました。

ると「脳梗塞で記憶がはっきりしない」と明確な答弁を引き出すことができませんでした。しかし、村田氏は不正とされた賃借料等の返還に応じるとしているほか、現理事長らの証言から、県が指摘した不正は、事実である可能性が高いことが分かりました。法人の理事が形骸化し、村田氏の個人商店になっていたことが不正の背景のようです。不正が放置されてきた理由を明らかにすることが、再発防止には不可欠です。石田倉吉市長ら歴代の福祉保健部長を参考人招致した結果、監査体制が十分でなかったことや、不正の一部は以前から福祉保健部は把握し、文書指摘を繰り返されていたにも関わらず、改善されなかったことも分かりました。

# 精査重ね、まもなく結論 みのり福祉会不正事件

社会福祉法人「みのり福祉会」に2回の業務改善命令が出されたことから、福祉生活病院常任委員会は、真相解明と再発防止に向け審議理を続けています。私は副委員長として調査の中

心的役割を担っています。みのり福祉会には、介護保険料など公費が5年間で約77億円投入され、元理事長は県議会議長を務めた村田氏です。いい加減な審議だと県議会に対する県民

の皆様の信頼を失うと思いい、精査を重ねてきました。指摘された不正は、法人が代金を支払った土地を村田氏とその家族名義で登記したうえで、法外な賃借料を法人が村田氏に支払って

いたほか、村田氏の借金や香典などを法人が支払っていたというものです。村田氏のほか、現理事長、当時の事務局長や理事らを参考人招致したほか、現地調査、福祉保健部や税務当局への聞き取り調査などを実施しました。

村田氏は「部下に任せていた」という発言に終始し、元事務局長も核心部分にな

私は25年前に鳥取市で開かれた「世界おもちや博」が目標の倍以上の60万人を集め、しかも、鳥取市外から来た人の73%はおもちや博のために来たという大成功であったことを紹介し、当時の西尾優市長が「地方都市が大都市に勝つには、名前しかない。おもちやが嫌いな子供はいないし、子供が来れば、両親も祖父母も一緒に来てくれる」と話していたエピソード

は副委員長として調査の中

いたほか、村田氏の借金や香典などを法人が支払っていたというものです。

村田氏は「部下に任せていた」という発言に終始し、元事務局長も核心部分にな

いたほか、村田氏の借金や香典などを法人が支払っていたというものです。

今後、具体的な改善策もまとめ、本会議で報告したいと思っています。